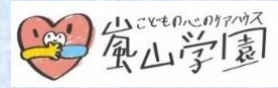


社会的養護における

ネットリテラシー教育

子どもたちをネットによるトラブルから守ろう！



子どもたちが自分専用のスマートフォンを使っている割合は、小学生で70.4%、中学生で93.0%、高校生では99.3%に達しています。日常的にスマートフォンを便利に使いこなしている一方で、ネットに依存したり、トラブルに巻き込まれるケースも絶えません。

そういったリスクから子どもたちを守るためにもネットリテラシー教育が大切になります。今回の研修会では、ネットリテラシー教育について専門的に研究している兵庫県立大学の竹内和雄先生のお話を伺いながら、子どもたちにどう向き合い支援していけば良いのかを考えていきたいと思えます。

日時：令和7年11月17日(月)
午後1時から3時30分

参加方法：ZOOMによるオンライン配信

対象者：里親 児童養護施設等職員

参加費：無料

申込〆切：令和7年11月10日(月)

申込方法：E-mail

※ オンライン配信ですので、メールでお申し込みください

申込先：こどもの心のケアハウス
嵐山学園 熊谷分室

E-mail：takinou@ranzangakuen.org

※ オンライン配信での研修会ですので、必ずEメールでお申し込みください



講師：兵庫県立大学環境人間学部教授 竹内和雄氏

現在、こども家庭庁「青少年のインターネット利用環境実態調査企画分析有識者」及び「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会委員」

こどもの心のケアハウス 嵐山学園

本事業は、「令和7年度児童心理治療施設多機能化事業」の一環で埼玉県から委託を受け実施します